

## 【受講生募集要項】

- 講座期間：4月23日～7月23日の内7日間
- 講座内容：裏面の予定日、カリキュラムを参照。
- 募集人員：40名（申し込み順）
- 申込資格：立川市並びに周辺市在住、在勤、在学などで全7回講座を通して受講できる方
- 受講料：4,000円
- 納入方法：第一回講座開催日に納入願います。

## 【申込方法】

- 受付開始 2016年3月14日午前10時から
- 同締切日 4月8日（定員になり次第締め切り）
- 受付 市民活動センターたちかわ

☎ 042（529）8323

受付は電話のみです。ご注意ください。

- 受付時に住所、氏名、性別、生年月日、連絡先をお聞きします。行事保険加入の為に必要事項です。また、救命技能資格の有無をお聞きします。

問合せ先  
市民活動センター 042-529-8323  
立川市災害ボランティアネット  
代表 矢野 和孝  
携帯 080-5001-6219

## 第V期講座の特徴

- ・ 本講座は防災・減災啓発の人材育成を目的としています。
- ・ 平日の昼間の発災の場合、地域に居るのは女性が大半です。女性も防災のノウハウを身に着けることが大切です。今期も特に、女性が参加しやすい日程にしました。
- ・ 修了生を対象に、災害時ボラ・セン要員の人材育成にも努めます。
- ・ 災害に市境は存在しません。近隣市の皆さんの受講を歓迎します。

主催：立川市災害ボランティアネット（立災ボ）

共催：立川市

社会福祉法人立川市社会福祉協議会

社会福祉法人幹福社会

後援：立川市自治会連合会 立川商工会議所

協賛：小室ホールディングス株式会社  
株式会社 消防弘済会

本講座は、受講料、立災ボ並びに幹福社会の分担金、小室ホールディングス（株）、（株）消防弘済会の協賛金などで運営されます。

全講座修了者には修了証を交付します。

立川市災害ボ  
会員も募集しています  
ネット

# 災害ボランティアリーダー 養成講座

## 第V期



## 養成講座基調講演

# 首都直下地震に 立川でどう備える？

講師：明治大学特任教授  
（東京都防災会議地震部会副部会長）  
中林 一樹氏

日時：2016年4月23日（土）

会場：立川市こども未来センター

立川市は平成27年4月、東京都の首都直下地震の新たな被害想定に基づき地域防災計画を改定。その際に、計画に市民の声を反映させたいとして、「計画策定市民会議」が設置され、「その日のために！サバイバル立川30の提言」がまとめられた。中林先生は東京都防災会議地震部会副部会長、中央防災会議委員の経験を請われてこの市民会議委員長を務められた。

第1回 4月23日(土)午後1時～午後5時  
会 場 ~~立川市子ども未来センター~~  
**立川市女性総合センター**

**基調講演**

**①首都直下地震の立川での被害想定と備え**

明治大学特任教授 中林一樹氏  
東京都防災会議地震部会副会長、国の中央防災会議委員の中林先生の話から、災害イメージを定めてその先の受講に臨んで頂きます。

**②立川市の災害対策基本施策**

立川市市民生活部防災課長  
では、行政は何ができるのか、どう対策されているのかお話し頂きます。新地域防災計画で市民に求められていることなどもお聞きします。

第4回 6月11日(土)(予定)午後1時～5時  
会 場 東京消防庁立川消防署体育館

**普通救命技能資格講習**

消防協会・東京防災救急協会

心肺蘇生やAED、異物除去、止血法など日常生活、災害現場で活かせる救急技能を学びます  
(普通救命技能認定証が交付されます)。  
有資格者は希望により受講を免除できます。但し、受講料は変わりません。

第5回 6月25日(土)午後1時～午後5時

**災害時のスタートリアージを学ぶ**

NPO法人 危機管理対策機構 事務局長  
細坪 信二氏

助かる命を救うために！災害現場ではたくさんのけが人が発生します。医師、救急隊員がいない時、救護所に運ぶのは市民。重症の傷病者から運ぶことが大切です。では、搬送する順番を見分けられますか？

搬送のためのトリアージ(選別)を学びましょう。

第2回 5月14日(土)午後1時～午後5時  
会 場 立川市女性総合センター

**災害のイメージでまちを歩こう**

立川市災害ボランティアネット

代表 矢野和孝氏

「防災まち歩き」 防災・減災対策に不可欠なことは、災害のイメージをしっかりとって、正しく知り、正しく恐れることとされています。私達のまちが、大災害が起きた時、どのように変わってしまうのか、その時安全なところ、危険なもの、役に立つものはなにかを見つけて歩きます。  
会場に戻って、気づいたことを地図に落して、みんなで話し合い共有しましょう。

第6回 7月9日(土)午後1時～午後5時  
会 場 立川市総合福祉センター(予定)

**ボランティアセンター立ち上げ体験**

公益社団法人シャンティー国際ボランティア会

気仙沼事務所代表 白鳥 孝太氏

災害現場にはたくさんのボランティアが集まる。被災者の求める支援とボランティアを結ぶのが「ボランティアセンター」。(略称ボラ・セン)が立ち上がらなければ被災者のニーズに合った支援も駆けつけたボランティアの力も活かせない。  
「ボラ・センに詰める人」「ボラ・センに被災者ニーズを伝える人」真に、被災者に寄り添う支援をするためには、地元精通した人材が必要です。

立川市社会福祉協議会は立川市防災計画でボラ・セン運営の所管組織。災害現場でボラ・セン常駐経験を持つ職員が立川社協にいます。立災ボにもボラ・セン運営ボランティア経験のメンバーがいます。力を合わせ、地元主体のボラセン運営のために何ができるかを提起します。共に学びましょう。

第3回 5月28日(土)午後1時～午後5時  
会 場 立川市立六中(予定)

**防災倉庫に何が入っているの？  
実際に使ってみよう！**

立川市防災課職員、立災ボ事務局

小・中学校は避難所に指定されていますが、そこに防災倉庫が設置されていることをご存知ですね。何が入っていて、どのように使うかご存知ですか。中に入っているものをチェックして、簡易トイレ、炊き出し釜、発電機、リヤカーなどを実際に組み立て、使用してみましょ。災害時に、速やかに使用できるよう体験しませんか。

第7回 7月23日(土)午後1時～午後5時30分  
会 場 立川市総合福祉センター

**要援護者を守る、講座のまとめ**

**①災害時要援護者の疑似体験**

**②災害時に要援護者にどう向き合うか**

社会福祉法人 幹福祉会

大里 宣之氏

(介護福祉士、防災士)

まず障がい者の身になってみましょう。次に障がい者の介助・搬送の方法を学びます。災害現場での対応について話を聞かせていただきます。

**③ 講座全体のまとめ**

立川市災害ボランティアネット

事務局長 福島 正人氏

立川市並びに周辺地域に想定される災害を知り、学んだものをどう活かすか、さらに、今後の活動に期待したいことについてお話をします。

**④全講座振り返りのグループディスカッション**

**⑤修了式**(午後5時30分終了予定。)